

- 1998年 第35回金馬獎 (台湾アカデミー賞) 11部門ノミネート/7部門受賞
作品賞、監督賞、主演男優賞、主演女優賞、脚色賞、音楽賞、主題歌賞
- 1998年 第48回ベルリン国際映画祭正式出品
- 1998年 第13回フォート・ローダーデイル国際映画祭 審査員賞
- 1999年 第14回ハリ映画祭 審査員特別賞、主演女優賞

シュウシュウの季節

「ラスト・エンペラー」
ジョアン・チェン第1回監督作品

GOOD MACHINE INTERNATIONAL and WHISPERING STEPPES present
a WHISPERING STEPPES PRODUCTION a JOAN CHEN FILM
"XIU XIU: The Sent Down Girl" LU LU LOPSANG
Music by JOHNNY CHEN
Based on the novella "TianYu" by YAN GELING
Edited & Associate Produced by RUBY YANG
Production Designer PAN LAI
Director of Photography LU YUE
Executive Producers JOAN CHEN ALLISON LIU & CECILE SHAH TSUEI
Produced by JOAN CHEN & ALICE CHAN
Written by YAN GELING & JOAN CHEN
Directed by JOAN CHEN
©Whispering Steppes L.P.

帰りたい、帰れない

季節は流れ、少女は本当の愛を知る

天浴
XIU XIU

1970年代後半、辺境の地に送られた少女シュウシュウは、帰郷の日だけを待ち望んだ
運命に翻弄される彼女を、無償の愛で支える男ラオジン
激動の時代、無垢ゆえの愛の痛みと切なさを描く真実のエピック・ロマン

ルルー ロプサン

監督/脚色:ジョアン・チェン 原作/脚色:イェン・ゲリン 音楽:ジョニー・チェン

1998年アカデミー賞ノミネート主演女優賞ノミネート主演男優賞ノミネート脚色賞ノミネート音楽賞ノミネート主題歌賞ノミネート
出品:日本ビクター・アシックス・エンターテインメント/配給:ユース・ピクチャーズ・日本ビクター

©1998 Victor

史上初、台湾アカデミー賞11部門ノミネート7部門受賞! 世界中で絶賛されたジョアン・チェン初監督作品



力強さと繊細さ。堂々の処女作

堂々と力強いストーリーテリングと繊細な画面作り。ジョアンは初監督ながら巧みな演出を見せる。スカーフや万華鏡などの小物を何気なく配することで、少女の心を効果的に描き出し、1日のうちに四季があるといわれるチベット地方の、厳しくも美しい自然をとらえるファンタジックな風景描写が全体にお伽話のような詩情を付け加えている。本作の成功がハリウッドでも注目され、監督第2作はMGMでリチャード・ギアとウイノナ・ライダー共演のラヴ・ストーリーに決定。

女優ジョアン・チェン渾身の処女作

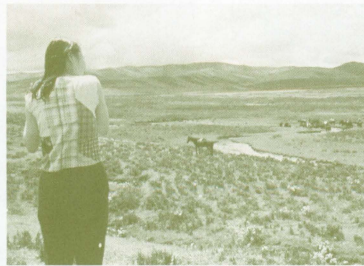
「ラストエンペラー」で強烈な印象を残した、アジアを代表する女優ジョアン・チェンが監督に初挑戦。「シュウシュウの季節」は1998年第48回ベルリン国際映画祭に正式出品され、第35回台湾金馬奨(台湾アカデミー賞)では史上初の11部門ノミネート、7部門受賞となった。青春の残酷、愛の透徹を描いたこの清冽な処女作で、ジョアンは女優から映画監督へと見事な転身ぶりを見せた。



あの日が、少女時代最後の日でした

国中が革命に燃えていた時代。天真爛漫な少女シュウシュウは、その若さと無垢ゆえに過酷な運命に翻弄される。だがどんなに傷ついても、その純心は決して汚されない。ラオジンの無償の愛に痛みを癒され、シュウシュウは、最後に本当の愛を知る。

原作の舞台と同時代に青春を過ごしたジョアンはこの物語に深く共鳴し、映画化を早くから考えていた。原作者に脚本を送り自ら資金集めに奔走、ウディ・アレンのオファーさえも断って本作に没頭した。しかし中国政府から映画の許可は降りず、撮影も物語の舞台になった奥地で無断で敢行。いつ当局にフィルムを没収されるか心配しながら撮影を続ける状況で、情熱と信念だけを頼りに完成させた本作は、過ぎ去った時代への鎮魂歌となった。



監督/脚色:ジョアン・チェン 原作/脚色:イェン・ゲリン 撮影:リュウ・ユエ 音楽:ジョニー・チェン プロダクション・デザイン:バン・ライ
編集:ルビー・ヤン 製作総指揮:ジョアン・チェン/アリソン・リウ/セルシ・シャ・ツェイ 製作:ジョアン・チェン/アリス・チャン
主演:ルルー・ロブサン/ガオ・ジェン/ジャン・チェン/リー・チエン/ガオ・ジャン/シン・ウェンヤン/カオ・ジョン/リュウ・ユエ/ワン・ラオヤン
1998年アメリカ/ワールド・マシソン・インターナショナル=ウィスバリンク・ステップス提供/ウィスバリンク・ステップス作品/1時間39分/カラー/ウィスタ/ドルビー・ステレオ
日本語字幕:富藤敦子/原作:角川文庫/サントラCD:ロックコード/提供:日本ビクター、アスミック・エース エンタテインメント/配給:エース・ピクチャーズ、日本ビクター
© Whispering Steppes, I.P.

適役のキャストとベテランのスタッフたち

少女シュウシュウを演じるのは、16歳で映画初挑戦のルルー。少女から女へと様々な表情を演じながらも、意志の強さと純粋さを失わない清々しい存在感は、高原に咲く一輪の忘れな草である。シュウシュウを大きな愛をもって見守るラオジンに、チベットの名優ロブサン。朴訥とした深みのあるキャラクターを体現している。

撮影はチャン・イーモウ作品を多く手がけ、「趙先生」で監督デビューも果たしたリュウ・ユエ。本作ではシュウシュウの父親役でも登場している。プロダクション・デザインは「赤い薔薇、白い薔薇」などで数々の受賞歴のあるバン・ライ。編集は香港出身で現在アメリカで活躍しているルビー・ヤン。そして音楽は、台湾のみならず広くアジア圏で絶大な人気を誇るヒットメーカー、ジョニー・チェン。確かな腕がジョアンの処女作を支えている。

彼方の草原で、季節はめぐる

1970年代半ば、宇宙ロケットが月に飛び、日本では高度経済成長で物が溢れていたころ。中国は文化大革命末期、都会の少年少女に労働を学ばせようと辺境の地へ送る下放政策が存在した。美しい街成都に住む少女シュウシュウも地方に送られ、チベットの男ラオジンから放牧を教わることになる。革命の理想に燃えながら、帰郷を待ち望むシュウシュウ。だが、文革が終焉を迎えていることを、彼女は知る由もなかった…。

奥深い地で奏でられる“二重奏”は、いつまでも人々の心に刻まれるだろう

※ポスト紙 1998.5.3

ラストは極めて押さえた演出だが、その淡々とした描写は観客の心に深く入り込む

※ヴァラエティ誌 1998.3.4

この秋、瑞々しい感動があなたを包み込む・・・

近日ロードショー (詳細は劇場迄お問い合わせ下さい)

◎前売鑑賞券¥1500好評発売中!! (当日一般 ¥1800の処)
★劇場窓口、市内プレイガイドやチケットぴあ、ローソンなどでお求め下さい。
★劇場窓口でお求めの方に先着でポストカードをプレゼント! カワイイぞ〜!!

心斎橋アメリカ村 BIG STEP 4F
パラダイスシネマ
06(6282)1460

Living with HIV/AIDS
パラダイスシネマはエイズ被害を支援します